

県教育委員会賞

●研究テーマ

近くの川はどんな川？ **弥美小学校** 6年生

秋山 聡真 竹仲 龍輝 田村 快 山本 透威

動機

僕たちの家の近くには「耳川」という川がある。耳川には毎年鮎つりにたくさんの人が来ている。鮎がたくさん住んでいるということは、耳川はきれいなのかなと思うが、どれだけきれいなのか、また、きれいに保つためにはどんな工夫をしているのか調べたいと思い調査をした。

内容

まず、耳川の上流、中流、下流で「流速」や「住んでいる生物」の調査、パックテストを使っての「COD」「NO3」「Cl2」の測定を行った。その結果、上流に進むにつれて水質はきれいになっていくが、下流でも十分に鮎などの生き物が生活できるきれいな状態であることが分かった。そこで、川の周りにたくさんある田んぼの水についても同様の調査を行った。調査の結果、田んぼの水のCODは川とは比べ物にならないほど汚れていることが分かった。

次に、生活排水による水の汚れを調べるために、しょうゆやみそをどれだけ薄めれば川の水と同じCODになるのか実験した。実験の結果、しょうゆが200000倍、みそは10000倍に薄めないと耳川と同じレベルには戻らないことが分かった。

以上の結果から、耳川には、田んぼから出た水や生活排水は流れ込んでいないと考えた。美浜町ではきれいな川を守るために、そういった工夫がされているということが分かった。

まとめや感想

・いろいろなことがわかってよかったです。これからは、川などを汚さないよう工夫出来ることがあれば実行したいです。

・ぼくは、今まで知らなかった事が知れたのでうれしかったです。これからは醤油などを入れる量を少なくしようと思いました。

・ぼくは、耳川がほかと比べてとてもきれいだなって知りませんでした。美浜町が耳川をきれいにする工夫をしていたなんて知らなかったので、知ることができてよかったです。